

略歴 | Career View

遠藤 薫 Kaori Endo

工芸 / 美術作家 Contemporary art, Textile art, Visual artist

1989年大阪府生まれ。2013年沖縄県立芸術大学工芸専攻染織科卒業。2016年志村ふくみ（紬織、重要無形文化財保持者）主宰アルスシムラ卒業。ベトナムと沖縄、東京と各地方を拠点に、その地に根ざした工芸と歴史、生活と密接な関係にある政治の関係性を紐解き、主に染織技法を用いて、制作発表を続けている。主に雑巾や落下傘、船の帆などを制作し、「使う」ことで布の生と人々の生を自身の身体を用いてパフォーマンスにトレースし、工芸の本質を拡張することを制作の核とする。最近の主な展示に『第13回 shiseido art egg』（2019年、資生堂ギャラリー／東京）、『Welcome, Stranger, to this Place』（2021年、東京藝術大学大学美術館／東京）、『琉球の横顔 — 描かれた「私」からの出発』（2021年、沖縄県立博物館・美術館／沖縄）など。『第13回 shiseido art egg』では art egg 大賞を受賞した。



Website | <https://www.kaori-endo.com>

Instagram | https://www.instagram.com/_kaori_endo/

<受賞歴>

- 2019年 『VOCA展 2019 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』 佳作受賞 上野の森美術館（東京）
- 2019年 『第13回 shiseido art egg』 art egg 大賞受賞 資生堂ギャラリー（東京）

<主な個展>

- 2015年 『DJ もしもしの幽霊について』 AIKOKOgallery（東京）
- 2019年 『第13回 shiseido art egg』 資生堂ギャラリー（東京）
- 2021年 『バナナの船の帆 / 海を渡る』 リサーチ報告展、神保町美学校（東京）
- 『Welcome, Stranger, to this Place』 東京藝術大学大学美術館（東京）

<主なグループ展>

- 2016年 『クロニクル、クロニクル！』 CCO クリエイティブセンター大阪（大阪） [~2017年]
- 2018年 Bangkok Biennial 2018 『BARRAK: survives』 White Line（バンコク、タイ）
- Month of Art Practice 『Invisible/Visible』 Heritage Space（ハノイ、ベトナム）
- 2019年 『VOCA展 2019 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』 上野の森美術館（東京）
- 2020年 『いのちの裂け目—布が描き出す近代、青森から』 青森公立大 国際芸術センター青森（青森）
- 2021年 『琉球の横顔 — 描かれた「私」からの出発』 沖縄県立博物館・美術館（沖縄）